

辺野古土砂北九州

発行…2024年3月号・No.49



3月1日沖縄県議会において、「辺野古代執行訴訟」で、最高裁が知事の上告を不受理にしたことについて記者会見する、玉城デニー知事。

《目次》

- 【辺野古裁判】裁判官は憲法と法律にのみ基づいた判断を(八記久美子)・・・2 ページ
- 【沖縄】安和・塩川抗議行動報告(宗吉信)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 ページ
- 【連続エッセイ】詩「大浦湾が泣いている」(浦島悦子)・・・・・・・・・・・・ 8 ページ
- 【ご案内】映画「戦雲」・土地利用規制法学習会・坂本菜の花さん被災・・・・ 9 ページ

写真提供…宗吉信・大石正信・ネット(敬称略)



発行 「辺野古土砂ストップ北九州」

えっ！
信じられない

代執行を巡る訴訟 最高裁、県の上告を不受理に

裁判官は憲法と法律にのみ基づいた判断を

世話人 八記久美子

■不受理までの簡単な経過

辺野古新基地建設をめぐる、国が県に代わって工事を承認する「代執行」に向けた裁判が、昨年12月20日に開かれました。裁判所は国の主張を認め、県に設計変更の申請を承認するよう命じました。また、12月28日には、沖縄県にかわって国が工事を承認する代執行を行い、沖縄防衛局は今年1月10日、大浦湾への石材・土砂投入を開始しました。

*

12月20日の判決は、「軟弱地盤により完成の見込みがなく、これ以上軍事基地はご免だ」という民意に反し、「豊かな大浦湾の環境破壊を進める」という、玉城デニー知事が設計変更を不承認とした理由を何ら審理しない、一方的で理不尽なものでした。よって、判決を不服とした玉城デニー知事は、昨年12月27日に最高裁へ上告しました。

*

ところが、2月29日、最高裁判所第1小法廷(岡正晶裁判長)の裁判官5人は、全員一致で上告を受理する理由がないという結論を出したのです。玉城知事は、「司法が何ら具体的な判断を示さずに門前払いしたことは極めて残念」「しかしながら多くの県民の負託を受けた知事として、新基地建設に反対する私の立場はいささかも変わるものではない」とコメントしました。

■戦後の密談に縛られる裁判官

当会の会報に、何度か原稿を書いていた末浪靖司さんは、ご自身が常任理事をされている日本平和委員会の機関紙に、日本の裁判所も、かつては米軍基地の問題で憲法に基づき正当な判断を下したことがあったとして、次のように紹介しています。

【…砂川事件をめぐる1959年3月の東京地裁判決です。伊達秋雄裁判長の名前を取って伊達裁判と呼ばれています。…最高裁は伊達判決を覆しましたが、これは当時の田中耕太郎最高裁長官と、マッカーサー駐日大使の密談により決められたものでした…いま政府が憲法と法令に違反し、大浦湾を埋め立てて米軍基地を造るのは、田中最高裁長官がマッカーサー大使と密談して米軍に憲法を適用しないとしたことに縛られているからです…】と書かれています。

憲法第76条3項では、裁判官は良心を持った上で、権力や圧力に従うことなく、憲法と法律にのみ基づいた判断をする必要があるとしています。裁判官が憲法を

守っていない現実があります。

■困ったなあ～

実は、最高裁に「公正・中立な立場で実質審理を」求める葉書(A4 サイズ・葉書切り取り)を、呼びかけ団体の《「止めよう!辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会》から送ってもらいましたが、「不受理」となっていました。400 枚も送ってもらったのに…です。

不受理の新聞記事に気が付いたのが3月2日(土)・葉書が届いたのが3月3日(日)・会報の印刷が3月5日(火)です。送っていただいた団体の対応が、現時点では分からないのですが、葉書用紙には、なぜ知事が上告したのかのコメントなども載っていますので、会報に同封します。葉書部分の裏側には、「不受理」としたことへのコメントを書いて送っていただければ、「抗議葉書」になります。ご協力の程よろしくお願ひします。

(やつきくみこ)

※マッカーサー駐日大使…GHQ のダグラス・マッカーサーの甥

※日本平和委員会の機関紙「平和新聞」2024 年 2 月 25 日号の末浪靖司さんの記事を一部紹介

※白いハガキが入っていますが、それは菜の花さんへの応援葉書です。ご注意ください。



最高裁決定に沖縄怒り 知事支え諦めない

西日本新聞・しんぶん赤旗より

大浦湾埋め立て開始への怒いを込めて 安和・塩川抗議行動報告

世話人 宗吉 信

■「許せない」の思いで安和・塩川へ

1月10日、沖縄防衛局はついに大浦湾側の工事に着工した。取り返しのつかない環境破壊に手を付けることに、少しは躊躇するかもという淡い期待は、あっけなく裏切られた。全くブレーキの効かない暴走は留まることを知らない。反対の意思を示し続けてきた沖縄県民はじめ、多くの国民の意欲を打ち砕き、あきらめさせようという目的も見え見えだ。許せない!! そんな思いでまた、埋め立て用の土砂や石材を積みだしている、名護市の安和棧橋と本部町の塩川港で行われている抗議行動に参加してきた。

■運動のベースには信頼関係が

2月2日(金)朝、東京から名護に移住して活動している西浦さんの車に同乗させてもらい、塩川へ向かう。途中、西浦さんが安和に寄り、横断幕を取り付け、非常事態が起こった時の記録映像用のビデオカメラを設置する。もう、土砂を積み込んだダンプが国道にずらりと並んで右折の順番を待っている。

7時少し前、毎朝ここで抗議行動をしている井浦さんが、棧橋の入り口に5~6人配置されている警備員一人一人に、深々と頭を下げて挨拶しているのを目にした。2年前、初めて安和での抗議行動に参加した時、彼女が国道で右折を待つ先頭のダンプに向かっ



毎朝7時から、安和棧橋入口交差点側で牛歩する井浦さん

て、やはり深々と頭を下げて牛歩を始めるのを見て驚いた。工事を進める側のダンプの運転手たちを敵として見るのではなく、味方に着けて、信号が変わる度に右折1台しか入らないという信頼関係を、こうして築いてきたのだそうだ。それは警備員に対しても同様だった。彼女が牛歩する時に持つメッセージボード「遅ければ遅いほど良い（ガンジー）」の意味を改めて考える。

■塩川港には、離島向けダンプも

塩川港でもダンプは7時から入り始める。工事開始前の住民説明会では、8時から17時まで1日160台相当という約束だったのに、沖縄防衛局は時間も台数も全く守らない。多い時には累計1日900台を超えるダンプが出入りするという。「8時までは絶対に譲らない」と、本部町島ぐるみ会議の中心メンバーが、毎朝一人でダンプの前に立ちふさがる。ダンプも約束違反が分かっているから列を作ってじっと待つ。8時になったら、牛歩が変わるから、少しずつダンプは出入りする。

やっかいなのが、ここは元々島の離島向け工事用の積出港であるため、辺野古埋め立ての土砂や石材を積んだダンプの他、離島向けの土砂を積んだダンプも出入りする。辺野古工事のダンプは日当制なので、牛歩によって運ぶ回数が少なくなっても運転手の生活に影響はない。しかし、離島向けは賃金体系が違うようで、回数が減ると賃金に影響するらしい。だから、離島向けダンプが列の後ろで待っていると、牛歩を止めて、離島向けの前にいる辺野古向けダンプも通すようにしている。離島向けダンプは、待たされるとクラクションを激しく鳴らして、苛立ちを示す。防衛局がわざとそうするように指示しているのではないかという見方もある。

■抗議の人数が成果に直結する塩川

更に、港を出るときの経路が、本来辺野古向けと離島向けでは別になっているのに、離島向けに紛れて牛歩を避け、早く港を出られるように、警備員がわざと離島向けの経路に辺野古向けのダンプを誘導する。抗議行動の人数が多いと、港の奥に人を配置して、



安和棧橋出口での牛歩行動

警備員がこのような誘導をしないように監視することができる。

これも、昨年10月に行った時は、ただ座って見ていれば警備員は不正をしなかったのだが、今回は見ている、カメラを向けても、平気で離島向けダンプに紛れ込ませるような誘導をするようになっていた。

もう、ここでも牛歩するしかなくなった。誘導でダンプを逃がす経路もいくつかあるので、それだけ抗議行動側の人数も必要になる。しかし、ここで離島ダンプに辺野古

向けダンプが紛れ込まないようにすると、牛歩の効果は格段に上がる。一日70台近くのダンプが稼働しているうち、60台以上を港の中に閉じ込めることもできる。何もしなかったら一日累計900台以上出入りするのを、200台まで抑えることもある。

でも、抗議行動の人数が少ないと、離島向けに紛れて、多くのダンプを素通りさせてしまうことになる。とにかく、塩川は人の数が成果に直結するので、たくさんの応援が必要だ。



午後2時頃、各地からの応援で、抗議行動の人がも増える

■県を挙げての反対運動を実感

2月3日は、安和も塩川も作業の無い土曜日だったので、辺野古のキャンプシュワブゲート前で行われた県民大行動に参加した。大浦湾側の工事開始直後の1月12日に行われた県民集会には、主催者が想定した倍近くの900人が集まったという。この日も850人が参加していた。埋め立てへの怒りのエネルギーを感じる。また、さすが沖縄だと思うのは、玉城知事がフィリピンに出張しているため、副知事が参加してメッセージ



キャンプシュワブゲート前での県民大行動の様子

を読み上げ、更に国会議員が5人、県議会議員が15人程も参加しているのだ。県を挙げての反対運動だということがひしひしと伝わる。元気が出る。でも、塩川にももっと来てほしい。内地からも！

■スウェーデンからも学者らが

集会には、スウェーデンから来た平和運動を研究しているという学者二人、他も参加していた。世界各地を回り、非暴力による運動を取材しているという。安和と塩川の抗議行動も見学したいという希望だったが、この日は作業が休みのため、西浦さんが大浦湾の工事の様子が一望できる瀬嵩の丘に案内した。

石材を投入しているケーソンが間近に見えた。天気が良かったので大浦湾がいつも美しかったが、工事の様子が痛々しい。辺野古の埋め立ては世界が憂慮している。



スウェーデンから来た学者を案内して、大浦湾の工事の状況を視察

■めーめーさん安らかに

2月8日、塩川で毎日抗議行動をされてきた、めーめーさん(前田良子さん)が急逝された。僕の今回の行動最終日だった7日の午前中まで、一緒に行動していた。昼から持病の治療に行くと言って、別れ際にお弁当を僕にくれた。お元気な時は、お昼ご飯をよくご一緒させていただいた。何度も塩川から安和まで車で送ってくれた。たまにしか行かない僕にも、とても親切にしてくれた。僕でさえこんなに残念に思うのに、塩川でずっと行動を共にしてきたお仲間の方々の悲しみは、察するに余りある。どうか、安らかに眠りください。(むねよしまこと)

※北上田さんの「チョイさんの沖縄日記」2月13日版にも、

Mさんとして記事があります。



大浦湾に投げ込まれる予定の石材を積み込む



横断幕の一つ

浦島悦子の連続エッセイ <南の島から> No.49

詩「大浦湾が泣いている」



ハリ基地いらない二見以北十区の会共同代表／フリーライター

辺野古新基地建設を巡り国は昨年末「代執行」(沖縄県に替わって設計変更を承認)を行い、年明け早々、大浦湾側工事を強行開始した。十数年前に作った私の詩が今の状況を表しているので、お読みいただければ幸いです。

大浦湾が泣いている
悠久の時に生まれた
数えきれない命を抱いて
大浦湾が涙を流している

大浦湾が泣いている
満月の夜に生まれた
サンゴの卵たちは
行きつく先を見つけられず
大浦湾は涙を流している

「海を守れ！」
抗議する人々の声を
掻き消す巨大なエンジン音
殺し屋たちの怒号が
波間を飛び交う

大浦湾が泣いている
海底に広がる山や谷を
優しい手で撫でながら
大浦湾が涙を流している

大浦湾が泣いている
この海に生きるジュゴン
命を繋ぐ餌場を追い出され
大浦湾は涙を流している

大浦湾が泣いている
サンゴの森に穴を開け
群れ遊ぶ魚たちを押し潰す
重機の音に身震いしながら
大浦湾が涙を流している

殺し屋たちは海を囲い込み
抗議する人々を追い払い
土砂と殺意を
流し込もうとする

風よ 吹け
波よ 逆巻け

天地の神々の怒りと
島じゅうの人々の思いが
一つになって
邪悪なものを吹き飛ばし
洗い流せ

大浦湾の流した涙が
やがて 青く青く透き通り
華やぐ命たちの上に
慈雨となって注ぐように

三上智恵監督作品・ドキュメンタリー映画 『戦雲』(いくさふむ)の上映始まる

《三上智恵監督よりメッセージ》

新作ドキュメンタリー映画『戦雲』(いくさふむ)。3月16日から順次全国で公開がいよいよ始まります！

先週、関係者に向けた初号試写会が東京で無事に終わりました。ドキドキでした。

「今までの作品とかなり違うので戸惑う」とか、「違っているのがよかった」という感想が多く、スピノフ作品のようなトーンを予想していた人ほど驚きが強かったようです。

「人間だけでなく、動物や命そのものを守りたいのが伝わってきた」とか、「ヘミングウェイの『老人と海』と『武器よさらば』が、今ここで初めて繋がった」とか深い感想もいただき、また、「切ない場面が多い一方でおおいに勇気づけられた」という声もあって、一刻も早く全国も皆さんに見てもらいたいという思いを新たにしました。

今回の作品の中心は、なかなか伝えてくれる人が少ない先島です。「沖縄本島が少ない！」とガッカリされる方も多いでしょう。最初は島ごとにプロットを構成して行き、沖縄島だけで3時間繋いでいました。でも思い切って離島の姿をメインに据えようと決意し、断腸の思いであれだけあった辺野古の日々の記録も映画の構成から消えたけれど、ただ単に削ったわけではありません。逆に消えた部分のテーマを煮詰めて、他のシーンに代弁させたり昇華させたりして基盤には残しているつもりです。

過去の作品には多かったあらゆる集会、抗議行動、大事な活動の場面も少なめで、代わりに牛や馬や山羊や魚がたくさん入ってきます。笑えるところも、応援したくなる場面も、ワクワクするシーンもあります。何より今までで一番、大きなスクリーンで見たい、私の好きなシーンが多い作品になりました。

愛おしい島々。かけがえのない暮らし。奪われない尊厳と輝こうとする命——それを見にきてください！

福岡市のKBCシネマは3月29日(金)～

当会では、北九州でこの映画の上映をしてくれる所を、現在当たっているところです。



「土地利用規制法」学習会と 富野弾薬庫入口見学

2021年6月、自民・公明・維新などの賛成で、土地利用規制法が採択されました。

この法律は、米軍・自衛隊基地や原発など「重要施設」周辺1キロや、国境離島に住み、生活し、活動するすべての市民を調査・監視対象にし、プライバシーまで踏み込み調査・監視することを可能にするものです。

また、今年の1月15日から、「注視区域」及び「特別注視区域」でこの法律の運用が始まりました。北九州では「富野弾薬支処」と「小倉駐屯地」が指定されています。

当日は、富野在住で、陸上自衛隊富野弾薬庫の撤去を議会でも取り上げてきた、大石市議員にお話をさせていただきます。是非ご参加ください。



講師

北九州市議員 大石正信さん



■日時…2024年4月20日(土)14時～16時

■会場…富野市民センター予定(北九州市小倉北区須賀町6-23)

市民センターの駐車場は9台分しかありません。出来るだけバスでお越しください。
西鉄バス92番 砂津乗車…(8つ先のバス停)…須賀町バス停下車・すぐそば

■参加費…500円

■内容…1時間の「お話と質問」の後、富野弾薬庫入口まで行き(まあ近く)、そこでまたお話を伺います。※雨天の場合は別メニュー

■申し込み…藤堂まで090-6299-2608

菜の花さんに応援メッセージを 今度は私たちから元気を送ろう



映画のワンシーンの菜の花さん

3年ほど前、当会で「映画・ちむぐり菜の花の沖縄日記」の上映会をしました。

主人公の坂本菜の花さんは、高校時代を沖縄のフリースクール珊瑚舎(さんごしゃ)スコレで過ごしました。それまで基地のことを知らなかった菜の花さんは、沖縄の現実にあふれ・学び・行動します。その姿に、私たちは元気をもらいました。

ところが、その坂本菜の花さんが、能登半島地震で被災しました。菜の花さんは、ご家族で石川県珠洲市で旅館(湯宿)を営んでいます。4月には

営業を再開する運びだそうですか、これまで本当に大変だったと思います。

遅ればせながらですが、世話人会で「今度は私たちが菜の花さんを励まそう」と話し合い、応援メッセージの葉書とカンパを募ることにしました。

みなさんのご協力をお願いします。

こんなハガキも
同封しています。
すみませんが63円切手を貼って
投函してください。


※菜の花さんが「礼状」などの手間をかけないでいように、住まいは都道府県までにしています。

菜の花カンパの
専用振込用紙も
同封しています。
こちらも併せて、
よろしくをお願いします。世話人一同

※お寄せいただいた「菜の花カンパ」は、
4月1日に、菜の花さんに送金します。

応援メッセージ

菜の花さんへ



住まい… 都道府県

なまえ…

《邊野古土砂北九州・今後の予定》

- 3月22日(金)…《小倉駅前街頭宣伝》16時～ ※金曜日です。ご注意ください。
- 3月27日(水)…《世話人会》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 4月03日(水)…《会報発送作業》14時～ 生涯学習総合センター・情報学習室
- 4月20日(土)…《重要土地利用規制法の学習会+富野弾薬庫入口見学》
14時～ 富野市民センター 講師…大石正信北九州市会議員



「邊野古土砂ストップ北九州」への入会は

年会費(個人 1000 円・団体 3000 円)です。090-4482-0043 大野保徳までお電話いただければ、会報をお送りします。

【邊野古土砂北九州の口座は】 ゆうちょ銀行 記号番号 01700-7-166911

【他金融機関から振り込む場合は】 ゆうちょ銀行 当座 一七九店 0166911

加入者名…「邊野古土砂ストップ北九州」

【財政・入会・退会に関するお問い合わせは】

090-4482-0043 大野保徳(財政担当)まで。

※領収書は、現金で会費をいただいた方のみお送りし、振り込みの方にはお送りしていません。ご了承下さい。



《邊野古土砂ストップ北九州》

メールアドレス…kanpanerura888k@gmail.com

〒803-0816 福岡県北九州市小倉北区金田 1-3-32-308 八記方

八記 080-1730-8895・南川 090-2853-7116・藤堂 090-6299-2608

2024 年 3 月 6 日発行